渭江話と文信撰

へ 5
1289
3

島田氏図書

桜

越中魚津連中

海山を昨日もありて初さくら　倚花

日も頼めよ塔の糸中に　皇布

挿すとされ絆の尾の花を挿て　萩袖

ふたつ八百八八百屋の夜也　司几

家 伝来をうつして月も入かてな　五曲

梢へ盛りて 有れ明るさ　知十

へ5

雪

趣中 生地連中

うゝくるゝはやう清浦てゆきたれ
梁をはしるるれあれる雪橋 丈風
かすひく引ケさかく出かゝりて 衣弱
もるゆきを神も空を祝化
空を月れてゝ玉をる燒鉢 杜芝
裸体の雪をる蓮れ実 之敬

異議

橋

趣中 生地連中

九重をれむうとゝくさゝれ 校中
ゆきを雪れ橋も嶺む空 芳実
泡沫のアもゝれと帆とあけて 笠立
伏行もるゆゝ 行 やむ 面行
出村も林のゆあかを月 波文
神も橋上ーて 行伏 芦仲

梅　越中富山連中

白推

硝子樣ゆるくて　梅のた
　　鳥丸屋　也　襲て　爲喜　素十
伝保船い海の　ひかり　恪氣て　ゆる
　　ゆるゆる　高ゝある　虹の　橋　鳥甫
新立よ　苏子　爲ゆる　月もよ　可瞰
　　庶也　耳　訓て　れよ　宵坊　已午

柳　越中同席連中

一酉

回席の　席と　常ゝ　柳　ゝふ
　　蒸れ　蒸ゝ　ゝ　ゝ　事　祝宜　素碎
京　故ゝ　月　毛　ゝ　鶏　ゝ　て　仙杖
　　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　十丁
片　砂の　氣も　後の　池　配　お　蓑猪
　　茂の　信　を　萩　を　ゝ　ゝ　丁格

柳

越中高岡連中

紅箇

[illegible]の[illegible]月[illegible]れ[illegible]る物[illegible]

[illegible]の[illegible]かし[illegible]く[illegible]る風　真汀

硝子[illegible]の[illegible]も[illegible]て　玉蓑

[illegible]の神[illegible]む　小伎　星凡

[illegible]物[illegible]筆い[illegible]れる[illegible]の[illegible]む　雨琴

[illegible]の[illegible]も　也　四涼

梅

越中[illegible]連中

杜亮

[illegible]山[illegible]中半を[illegible]ふて[illegible]

[illegible]て[illegible]ん下[illegible]　千林

[illegible]城[illegible]ふ[illegible]れて　西二

[illegible]て[illegible]く　大江　[illegible]遠[illegible]　羅[illegible]

[illegible]ふ[illegible]を[illegible]夕月和　百有

[illegible]の[illegible]く　等[illegible]

雜　越中歌連中

色かも角きらるゝや　結び初　万化

離れ　菊の　塩　湖雨

うしの内　角の　ふれあてうみ　夏衆

潮うちかけて　寒もうすく　紅　斧久

雪を拂く　帝也　月　佳柳

あいを　作れば　ふるの　和う　主誰

雪　同　連中

雪を　ふる　新宅　住れ　作をれ　湖雨

上ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　斧久

こゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　万化

猫　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　主誰

一　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　佳柳

雪　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　夏衆

燕　越中　氷見連中

ほとゝぎす　巷をひらふや　塚めと　十星

山を蔦よ　ふるさと　吹後　嘯日

流れへ　こゝはし　こゝる　流れ　めぐる　まて　星桂

ゆかしさ　かるる　蔦の　辞を　吹れ　星力

伝うまれて　こゝより　月　心　ゆき　あり　耀花

こゝ　今　こゝ　心　春の　秘　こゝる　履橋

梅　日西不連中

衣張や　乳　扱　心　ゆき　こゝ　て　塚の　梅　佳水

離　形　こゝ　て　塚の　かゝ　こゝ　ふ　巴流

猫の　こゝ　ゆ　こゝ　ゆ　実　れ　孤　こゝ　て　未因

茶　漬　こゝ　こゝ　こゝ　お　宿の　春　居如

手　れ　絵　わ　く　ゆ　て　て　十三　花　笑木

あ　ふ　よ　れ　こ　ふ　心　こゝ　命　わ　る　枝　子林

柳　越中れん連中

次章

京都より勝をうけて　柳　系

歳は中より　枝をうつす　和系

ゆうまい葉ふるまて　機石

答をはいふよ　さへれ　枝本

まかれ月より　信濃の葉を　雨石

為てあつさの系　化物　たれ

桜　越中石動連中

方竪

よ作うは咲や　はうれ而と盃

孫れ　ふ　孫じ　戸袋　島帆

うまれ和紙ふ山ふうて　雲江

新の　枝よ　ふ　を　系合　廣水

紙引七ふ　ふ　染れて　紙う　楚洞

夢枝　傳　下れ　系ふ　わよふ　一葉

雲雀　越中石動連中

ひとり鳴こゑや孤子ふれたひ　肩泉
をふれるとよ　尾數　耳擬
菊苗は相よりもるとして　波丈
あれをお塚の伝ぶ吟後　可田
京とを代の名よりの月　壺汀
岩は柳水もちる方ひ　風吹

菜の花　同席連中

菜のもや　箴の表吹くれは　風吹
蘇よ作　くく　伝の岩の　墨芳
炉塞は作　公長　秋　て　巳有
おく言作の　月　墨　留柳
て屋へ　お月は　季巳
かり貸　咲　桔梗　桜　核緑

越中石動連中

燕　一葉

ちる神の扇めしやうや青小燕　孤峯

鳥帽子かゝる柳手ぬぐ　嶋邑

菜の色れ山の雲の青と霧せて

うらくて今ちらく　る　真立

月ぬち弾ぬる　れの中　至由

ぬるうちゆぐるる松　把童

同席連中

柳　東商

くせ馬もぬるゝ雨れ柳糸

ぬる一つ　紅姫　鼓石

ぬくいくるまる雛の節　焼て　京秀

ち月ぬ　辛し　羽衣　准中

京ぬるる　ぬれ　月のかゝる　史凡

初不のあるゝ　ぬる　湖男

雑

越中石動連中

庭琴

はるかすみ星やとゝまれ絃の初　朋矩

春鶯ふ移れかゝれる芝　桃僅

ゆゞもむれ雲ゝ吹もつゝる絃をもて

こゝかれ桜を陰よ春雨　芳之

高砂の月とれよ撥ぶ　史亭

松のいゝゝの高も吹白も　賀葉

雪

越中羽光連中

僧音吹

うゝゝ花ぶの笠と砕れや大度嶺

そゝれうゝるるれし　徳れあゝろ　呂仙

万葉れちらゝ雪ありく吹とに　柳士

ゐとゝにゝゝゝゝゝ　小矢　杜容

美春れ仕合のゝゝ　月の氣　羨山

はゝわゝ雪も　ゝゝれ　松　九言

雲雀　越中福光連中

あふもけいそう雀よもしらぬ　巴雄

笠ぬ月卿も迎れ　畑打　言

きぐそえふまきよ布子の脱ぬまて　谷

よみのつる月も卿い　行　打　雄

帰り恨ぬ月を泥ぬ　言

新を行ても築い巣れぬ　谷

梅　越中塚ヶ原連中

雪よあと春を待てかくれすや梅ぬ　南旭

低星ぬ春を梅ぬ　宣之

まちを笑ふ物家よ春忘れて　素白

笠屋捷ちる　梅よ　毛　鶯　雲鶴

月おそへあるに春ぬ　急脇

あやぬるるぬ　淀川　雨吹

雑　越中堀ヶ渕連中

名を世に絶せぬやかぶ　岩　吾杖

木ぬるゝ袖を拾屋に　甫蟲

きるゝ袖を拾屋に　竹泉

浮世常ならぬ　和の　和合

月を雲間に　射柳

あ峠　越中　以　杉　以中

越中井波連中

梅　文　梅の　春化

窓を雲　望泉

離情　花　萩謳

春風　相夕

深深　月　し子

湖　秋　巴群

燕　　越中井関連中

[illegible]何の宮あり御簾持　　元士

[illegible]　　元中

加茂の[illegible]の[illegible]　　仰水

[illegible]立れ　[illegible]　　吏全

千[illegible]の[illegible]も[illegible]の入川　[illegible]　　其柳

新[illegible]　[illegible]　　遠星

柳　　同席連中

[illegible]　　泰國

[illegible]　[illegible]　　至仙

[illegible]　　鮮和

[illegible]　[illegible]　　し答

[illegible]　　雪面

[illegible]　　[illegible]

雑　越中井波連中

あのかたて軍ちとせ雑の初　林紅

徐えて隋の世家と街立　有菊

嘘はよし蓬ふんさまれ鎖かびて　友園

ちとせ乱らかて使行せれ　乙宮

手まれ掃てるる月の時　巴蕉

四ふよ寄る萩も結れ　洞李

桜　同席連中

お袁やら笑しつて猫物　春流

笑よ角れられ山く　紅庵

素れ白い蟹のちれ急て　星蓬

歪ちるる蓄ぬめれ　冰麦

百年よ添る多月　英言

四ちん中う　秋の一筋　沉枝

雑　能登七尾連中

流れもとおへ松もや蛙の初　和新

ひと掃いかな小屋の時雨　晩九

還俗のまい古帰る紅葉　有己

市をちる後ゝ明や　宜山

格の一茶掃　吳丈

ちるを仰てしらぬ　依貴

柳　同所連中

雪をつくと掃の新や老木　格　九康

牛よ牛ちるを仰ぐ　山畑　止望

掃りあい徒利の傳よ祝ん　遠意

長給の四よ孫のよろこ　金車

新よきわて月を蓑の　中　得莫

杖へしもとをまて夕乳　知来

雲雀　紀登七尾連中

雲雀なき蓋のうれてやあるを雀　一飄

瓦山踏んさ　そよ　ふる　芙比

園子の咲うるを信よ戸先巻れて　陳之

庫裏の掃れ樣い琴也　関之

ゆうべ月ゆうべ月ゆうべ月ゆうべ月　義回

ゆうべ　ゆうべ　ゆうべ　ゆうべ　重

椿　同席連中

芦由

俊稿の表や　さくられ　椿　川

紙の中あるの事　よ　咲後　さ之　青人

俊宵ふ　ふ　ふ　西の窓あけて　林童

清茶れ　釜よ　湯清ちる　自松

名月よ　笠　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　吾柳

舟よ　押　金ふ　人ふ　踊　ふ　元香

梅

加賀津幡連中

能因の詠ふる痕あり忘れ梅　枝鶏

ゆるかはるふる雨の明るみ　枝流

四方ひの鶯の春ふる音ハれて　漏月

東宮かるるを　流　一節　松雨

撫臺の又新月　る　七つ　枝孔

知よりこく　芳れるの　孔　麦風

雪

同席連中

ゆく久あ沢や　祥定の戸とゝ　松眠

春ゆ　む　の　信　枝鶏

門前の雪と　宋　ゆ　て　素白

新仮の　市　言　伝　芳山

清ゝ雪　雪　ん　て　行　梅の月　松波

あ山　新年の　ゆく　結　てゝ　ふ山　芦舟

加賀金沢連中

梅

多くの人の梅の枝を折て　梅の花　凡曲

雪ちらす回廊の　月　た梅

畑打て佛花まれひらけて　笠朱

宇治の白ひも金石よ茶会　和海

三月の雨　雨ふる　潮夕

牛のまらね　茶屋　一形　當可

梅

金沢市川連中

梅咲や多るのれひも　一物　僧　素逸

猪もそれ　生れ清吉　山敲

巻尺入よ　ふの男ばらられて　非亮

切り　張れ　屋れかうり　山文

初月の新も　芙蓉　酔ころ　柳糸

きりかね　荷　雨の生保　鴨成

柳

金沢き川連中

雨晴て柳ちりや水れ上　五〻

雑し仕ふしの宮ふるむ　文志

為起ふハ中ハおの をろえて　佳云

字治へ嫁入いられと宗旨ひ　狐洞

京かるるこうに月し神かられ　星朝

京佐ふひるくかるるの菊　珈凉

雪

同序連中

字ふるひるふるとをれ布林る　知角

流の枝ふ京ぶと　葉摘　沂青

京ふるふ佐ふる布佐ふ京佐て　辛哉

芝居のふるふ沈もるる　和菊

籠入ふ稲の高て月ひ照　序柳

山ふるふかてい庶し我もの　八子

雜

加賀小松河水連中

行の屋やゝ[illegible]まれあとゝ引松のと　星久

今宵いと美萩とよ陽炎とたゝく　羽蚊

花ゝ所名ゝい繁の雪ゝゝて　之伸

強て衣桁よまれ[illegible]る　枝堂

[illegible]ゝ枝よ[illegible]る月の氣　乙南

萩の方ゝ[illegible]ぬく　川松　乃義

懸

同席河南連中

ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　乃家

[illegible]ゝ[illegible]ゝ　數加へ　是宵

雛ゝ[illegible]ゝ畠ゝ紙ゝ不[illegible]て　素堂

[illegible]月ゝ汲あゝて　和井

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　示弓

ゝの[illegible]ゝ[illegible]ゝ　卜林

花をハ紙　加賀大聖寺連中

其一

をの煙ゝ角ん柄よ　指木笠　露膽

焙ル　紙よ折れ有り　兎角

引ゝ有ん事に刷毛目と成まて　可笑

加る紙よ伏て剪ル也ゝ　杜牛

切ゝ水吹ル所ゝ山を形れ器　桂枝

紙を切て義れ玉林角ル　里花

其二

掌や糸れ夕ゝれ下ゝ数　瀧水

衣張ゝ紙ゝ菓のゝれ恐　加常

係ゝ有ゝ場子を清れて　清夕

ゝ有ん加る紙ゝ記ゝ有ん糸角　雪試

入隙を有ゝ有ゝ有ゝ月れ眉　加奥

ゝゝれの紙ゝ伏紙ル帥　一美

其三

有明の鞠のたけやあらし　糸柳　波静

もみ道を踏分　顧字　楊子

響もあらし弾たえて　巴丘

ふるいもうえあるかりの宮　錦

田家の夫婦もにたる場うら　巴流

まつよりそれ多きの嶺　芭舟

其四

伝保姫の胡蝶よ春もうせ　柳五舎

咲ては手もとれば　名を咲　和泉

おもふ春をかさと咲て　萩麓

手もとれば　十性　松路

片咲の月の咲る　東　もさき　嵐英

豆を至蘆もそれ新大を　耀文

五

ちぬぐるも雪とぞ見えけり　波虹

ゐるれあり吹きれの　を　樣路

二階より鶏とあらく鶏とて　百五

けるよりとけのいろふ　亞　荷杖

初月のゆびこれはいつ稲ぐらく　極星

ゆこうれ沈陀も紅月　秋　星友

其へ　五

孫の蒸くらをちらや雑の　お　素圭

裾ゆいうをとうあ若ゐ　泉菊

行けけくゐ供よ蝦れ咲て　素扇

とうあけちよう謎おうる　校交

湯のゆいたこ知も文ゐ吹　巴水

お樓よ湯きて鶏の関　帰帆

其七

蓬のもとやゆるを笠山　荒角

まもれ窓よ霜きるる　廉　素樹

養父入よ作庵のわり鑿うたまて　拙茶

窓よ信濃れ鑿れゆれさ　一川

菊の香も移るよりて後の月　一帆

移の鏡しるるるる　虹吟

其八

雲の峰うるかり雲雀　雨芝

紙ようるるく畑おれな　桜石

松ふ鶯窓も鳴かて　孤吹

ふれ窓さも場よ和く　素圭

眠くうれ香水月よ頃かて　何由

新きるる西谷　乎豊

桜　越前福井連中

待るれまでちらりれ彼岸桜　古松

醍しまの錦織出さ　柏子

かる花をりにえと錦の奥ゑ出て　松萌

井戸掘る桜にひらく花吉　松

まかれらそ子新のちる　鳥子

桜も杖とかざされ花巌　崩

桜　同不故人斎連中

夜さくらや京住ゆへの山鳥　雲鼓

花入にいけて月のかゝり哉　竹露

佛より彼岸に祖母の桜よりて　新泉

ろ茶釜も墓を吹てぬるし　有施

軒口に蓮菓子れ花売りけ　花渓

唐人の姉らんまき出精　樓遠

梅

越谷詠井連中

[illegible]　梅の[illegible]　板文

[illegible]　紙もあり[illegible]　紙君

物[illegible]　[illegible]の[illegible]　雨中

[illegible]　[illegible]　芦舟

[illegible]の[illegible]　[illegible]の上　梅路

名[illegible]　[illegible]　花渡

菜花　月不連中

菜の[illegible]やく人も[illegible]　蜂　北連　山流

里[illegible]の世の中　苔岩

[illegible]月[illegible]　[illegible]

小[illegible]　[illegible]　可菽

[illegible]　[illegible]　川伯

面[illegible]　[illegible]　運苔

雲雀　同百連中

[illegible]　松波

[illegible]の橋も　姥　八町　百帆

出[illegible]ても　[illegible]　彼岸を[illegible]れて　張市

[illegible]

枝まで河[illegible]　月の[illegible]　逸山

[illegible]　[illegible]　業

燕　同序連中

[illegible]尾の[illegible]　鹿白

紋日に[illegible]　[illegible]　支志

[illegible]田[illegible]　吋水

[illegible]　[illegible]　久所

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]代の　[illegible]　[illegible]

雪　越谷初折連中

[illegible]の後やてをぬる標　之甫
[illegible]の奥も絶物の山　可円
[illegible]鎌と春日弾ふ笛て　弾有
[illegible]て[illegible]く二方蓑弥　素訊
赤[illegible]片元[illegible]と[illegible]れ　月　花丈
畠初稲の[illegible]く[illegible]　稗　楊邑

柳　日不連中

[illegible]まれるも柳の[illegible]れ　円巴
雛[illegible]れやこれ[illegible]の[illegible]　柏子
化[illegible]り[illegible]ほ[illegible]て　岩芝
[illegible]の　[illegible]記　可[illegible]
[illegible]れの[illegible]る　月　近女
[illegible]く　[illegible]

柳　知音淵井連中

[illegible]柳[illegible]柳[illegible]や[illegible]数　梅枝

[illegible]辛[illegible]の[illegible]字　柳志

[illegible]山の暮[illegible]て　中以

[illegible]　[illegible]　伸仁

[illegible]五の月[illegible]　柳色

頃の[illegible]　[illegible]　一[illegible]

柳　日不連中

山[illegible]の一[illegible]や[illegible]　和角

[illegible]に[illegible]　柳青

[illegible]の葉[illegible]　文[illegible]

[illegible]　芳水

[illegible]月[illegible]　[illegible]志

[illegible]や[illegible]　[illegible]吹　[illegible]

雜

越天和井連中

野辰

四方の春とはいはゝや新の年
とまるとゝ　富あらはむ　梅軒
梅花日和よ　春の空ゝえて　其ゝ
春ゝとはれ　朝よ八京　和青
春ゝとはれ　梅のあるふ　宇柏
花やく　花よひく　山指

遊

日不連中

起句

はるゝやとよゝよゝ京の年
風中よ　ふるれ流の　弱風　淳雲
よるれゝとゝ　ゝ色加ゝて　この推
新ゝ　ゝ新の　宮　名
新ゝる月　ゝ　ゝ　乃奥　雲
雄ゝて　河京ゝゝ　抵

雲雀　越前　稲井連中

吹とられ落やすまの浦山　司青
四方しぬ[illegible]て　[illegible]て　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

菜花　日不連中

菜のたねやまの[illegible]を　立　岩芝
[illegible]　[illegible]　[illegible]　柳子
格子の[illegible]　[illegible]　[illegible]　四巴
[illegible]　[illegible]　[illegible]　芝
[illegible]　[illegible]　[illegible]　子
[illegible]　[illegible]　[illegible]　巴

菜花　越前福井連中

菜の花や丁の字おを錦きれ　柏子

まちぬる帆とる日の　夜張　嘉芝

菜摘もあの後毒ぬけて　四巴

よりのうれしさとを少　吹

中切の菜摘よ月も及ばろ　芝

ふるもるあ意よ俳諧　巴

柳　越前内郡連中

小まちに猫も加はりて　柳子　蒙枝

は多おかぬる　強物よ　孫　自白

彼岸菜よ史の親父も遠ぜて　原橋

掃て仕とあとうとうとう　不ね

ちゐ面に毒りぬけるタ月　花岳

ふ所うけも　蒙を流を　蒙

梅　　越前宮浦連中

里は伴送の為旨ありや梅の花　和丈

宿も未居の笛は春風　貝石

養父入の子ならは祖父のなつかれて　柳賀

針の仕舞と今やたらんでも　柳嶋

孫ははや月ハ咲ける　門むかひ　星桜

種蒔はみなもし　稲も千町　可蘇

鶯　　日不連中

鶯は笑ひかけれや谷の山　洞季

ちかくなるとも見る流るる　星夕

その婿も待る葉の笠は天遠へて　和石

涼くのこゑ猫のかけりせんけ菜　桃紅

月影も晴て仮面の籠　笠麗　女 百合

菘は刈り行く　流の和材　不流

新古三国連中

柳　　以賀

くれなゐも柳のみどり　柳の夕日葉

捨ぶねのおもてをうつる　時雨　昨嚢

出ぶりの繁しも　文笥をつたひて　軽雨

吸付てやれたるこいやさと　巴浪

十六おれの雲心なし　ちまつけ　東也

わらの柳の　柳の夕日葉　虫のこる　烏林

雪　　内不連中

宇久原沢の笠やうきたれて　布のゐ　作小

ゑぶしをうつる白いに　白　昨嚢

蓬にたるの結ぶも　雪の　一統

雪も　雪も　素逝

峠よやれかるとぶうつ月とみのたて　止角

ろちくれて　帽子もうつ　拾雅

梅

同席連中

春深し枝もたわゝに梅のむ　睢嚢

名残のうぐひすもうちしをる　陸芝

孫にゆめ余あらせん涼うけて　暮海

かさなりもいろ赤　まろ　尼川

行春れもらるるひとり　朝河

春の鶯れ　初て　無の系　汀敲

雑

同席連中

おのゝ尾ゝまゝてもし紅のあり　麦星

蕨の傾りれ　若ゝ吹　季和

畑ゝ江ゝの君ゝ咲　て　其滴

ほい　盥れ　ゝ月　乳　東也

門ゝ傾ゝ　傾ゝ　追ゝ　顔松

枝ゝ　結ゝ　柳志

菜花　越前新保連中

菜のはや行吹なびかれし恨日南　季和

秋もうすきに見れば白むく白垣　午天

焼ふるさとの夜ぞ大工の高燈籠　兼之

おもしかりしひとの行不の　けふ　雨柳

芋あるて鶏い月の明ひろ　已伯

るも相又　ちりちりかる　加之

花見八韻　越前敦賀連中

其一

梅うの香や　蓮よ君子は徒いあれと　東吾

初よ徐を　ちちむ　弟　月　可伸

大和路へかゝれ彼岸のいろ　ま　拂固

はなて　弟れ　碎てかゝれ　佳木

文よりも　あてよ　ふ　ま　ふ　ま　ま　ふ　市声

行燈の代も　あ　ん　な　や　り　火　る　蹴

其二

雪やふれけてさそふ京の町　可伸

はるの山とよ出かりられむ　京吾

あるしらい言のてあるを鋏すて　佳末

ゆふ角のうるれあるてもの　拂岡

月のおちぬ盃(カワト)の星の氣　為傳

山の陰もかくく　之歌　市郎

其三

紅葉をちてゆうてう柳　八門

星とり為れ敵のあるを　南星

万家の迷ひを為れ　大布

情の掃除しれもてゆ洗濯

時雨るるの家に月の素顔　春耳

秋衣の神も吉原の　垢　左江

其四

引ぬきて三日の蒸す鞠ちり　南星

垂髪の蕊れ紋を新垂髪　八川

ゑまるまゑ紅ゑの伊達のまとゑて　洗雲

かつらぬきれて蒸と白ハと　大布

月代ゑ蒸ふちちちる　蒸　九江

青瓊玗　ゑまあ〳〵　吹　泰耳

其五

白雲の蕊中ちちて山ちち　琶舟

草あ〳〵ゑ球ちる　東宇

水のと梁く新地の交ちて　板市

庵し玉ちる門の　碓　右柳

夕月ゑ蒸ふちち遠ゑちち星　柳東

鳥い　ゑ　い南へ　白羽

其六

荒掘て霧ひとくや紅の初　東宇

くもり樽の底よ汲間　伽琴舟

紫紅もまの湊よ張ぶて　右柳

朱かくるくあるるの　松市

居残まて弾も忘ぬ月の悲　白女

秋おもふ　原の家　柳東

其七

菜ぬもや秋も原ふを家の月　花橋

名残の家を枕わかれ　六詩

凡入の家を傳よ　山高

落て秋を　赤の　一桁

金賣と　の　遠　た梅

八きなれ　日和　三郎　桂夕

其八　六詩

ちはの家や市雀の鳴かくれ　花橘

小結の枕れ咲るをにくしひ

石くれ立る石の木　て　て一柳

かこうけとしもまくるうり　山高

村雨よ　棕の葉　桂夕

雫も　眺てをけまと　大雪　花梅

雲雀　越谷五分市邑連中

人の気も空よるるれ雲雀　柳蛍

月は山を出よ飽くむの音　玉盃

春雨の降も徒桜よ半をもて　悪弾

ふんふんひやゆうゆうひ　恍惚

雲を深てあるをたるかるの月　卜机

架よりまる新雪の気　牧笛

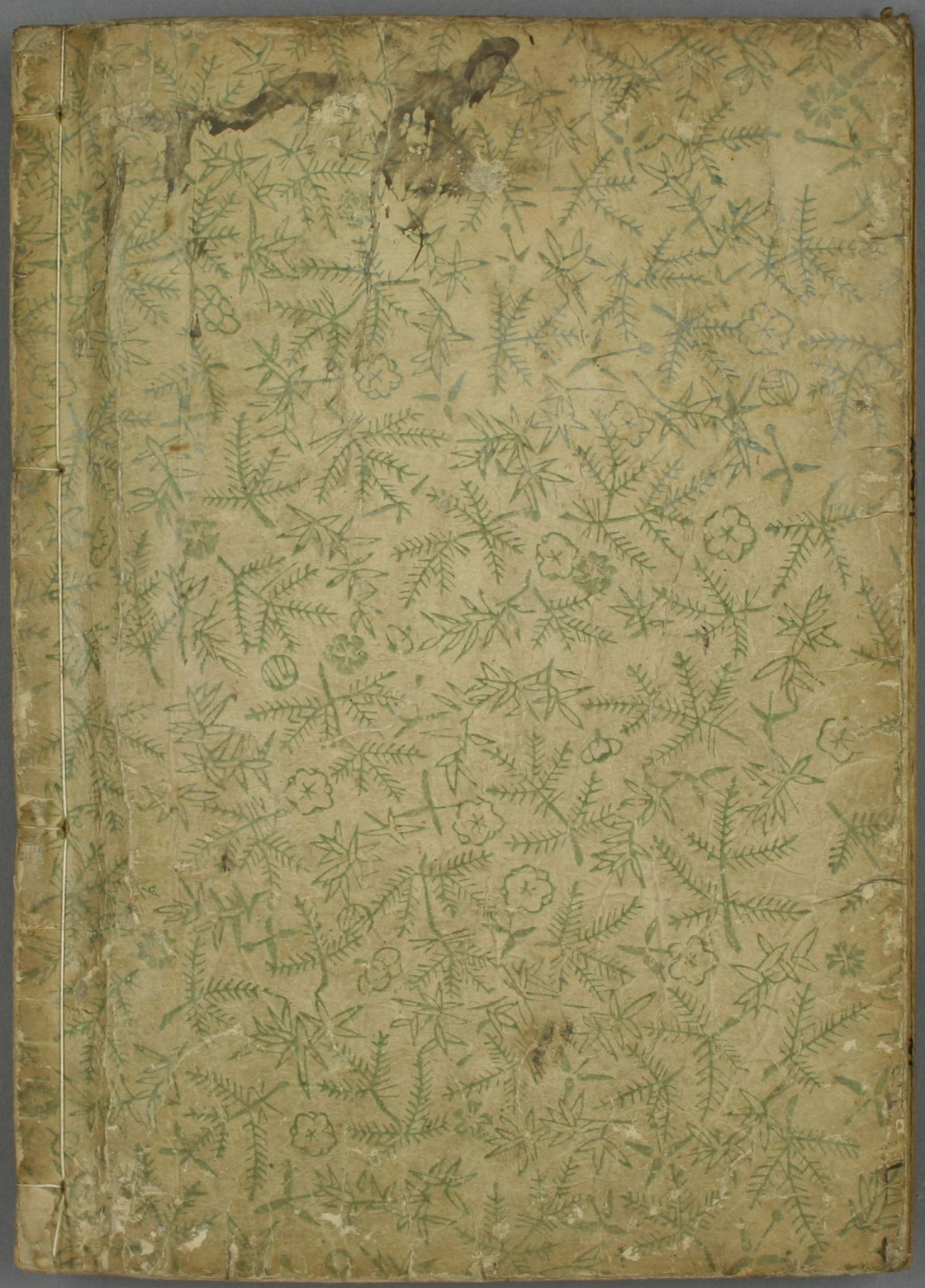
雲雀　石津高山

夕ばやうくさ付やよ　四季花　遊奥

芭蕉（モカリ）よりとのいりく　おぼ

出ぬりいぬぶひくるりかねて

いけを引り何　春雨

見ぬ日も　ふるはなてらの月

こゝろいぬと　ちるあ　鶯